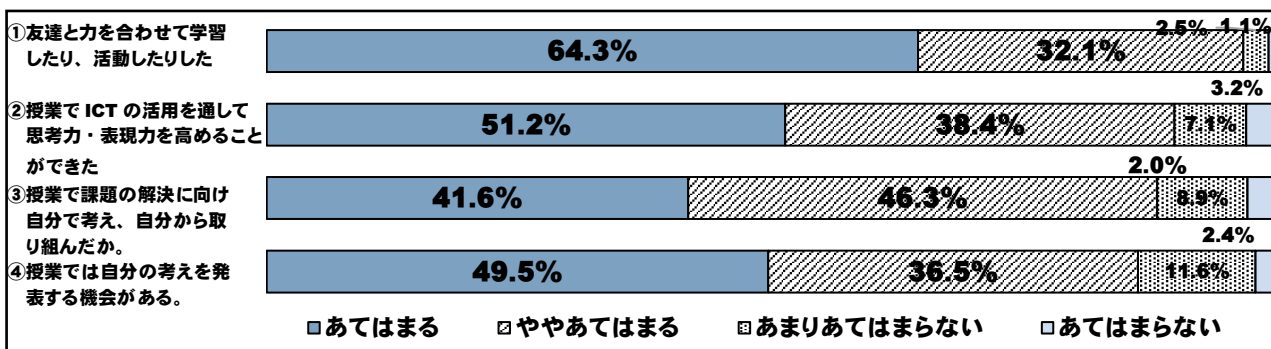




### 前期学校評価について

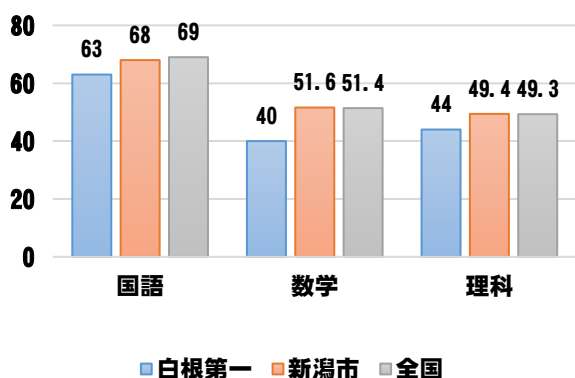
令和4年度白根第一中学校教育ビジョン「目標設定し自己を高める力」、「知識技能を自在に活用して課題を解決する力」、「人間関係を築き協働する力」の実現に向け、「様々なことに挑戦し続ける力～自己肯定感・他者肯定感～」をキャッチフレーズとして教育活動を進めてきました。このたび、前期のアンケート結果がまとまりましたのでお知らせします。保護者の皆様からは、引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

## 1 「子どもたちの学習の様子」について（授業の質的な向上）



上記4項目は、生徒の授業にかかわるアンケートです。どの項目も「当てはまる」「やや当てはまる」の合計の数値が85%を超えており、充実した授業の様子がうかがえます。特に①「友達と力を合わせて学習したり、活動したりした」の項目では95%以上が肯定的評価をしており、生徒同士が協働し互いを尊重しながら学びを深めることができました。また、タブレットを用いた授業が日常化しており、思考力・判断力を深める場面や発表の場面での活用が広がっています。これらの取組によって、生徒は学びの自信を深め、自ら主体的に学習に取り組んでいくと考えています。さらに、下の全国学力状況調査によって明らかとなった弱点の克服に向けて、授業の質的な向上に取り組んでいきます。

全国学力状況調査平均正答率



#### <国語>

市・県の平均をやや下回っています、特に表現の技法に関する問題、記述式問題の正答率が低くなっています。日々の授業の中で、自分の考えを単文にまとめたり、アウトプット場면을意図的に設定したりして、思考力・表現力の育成を目指します。

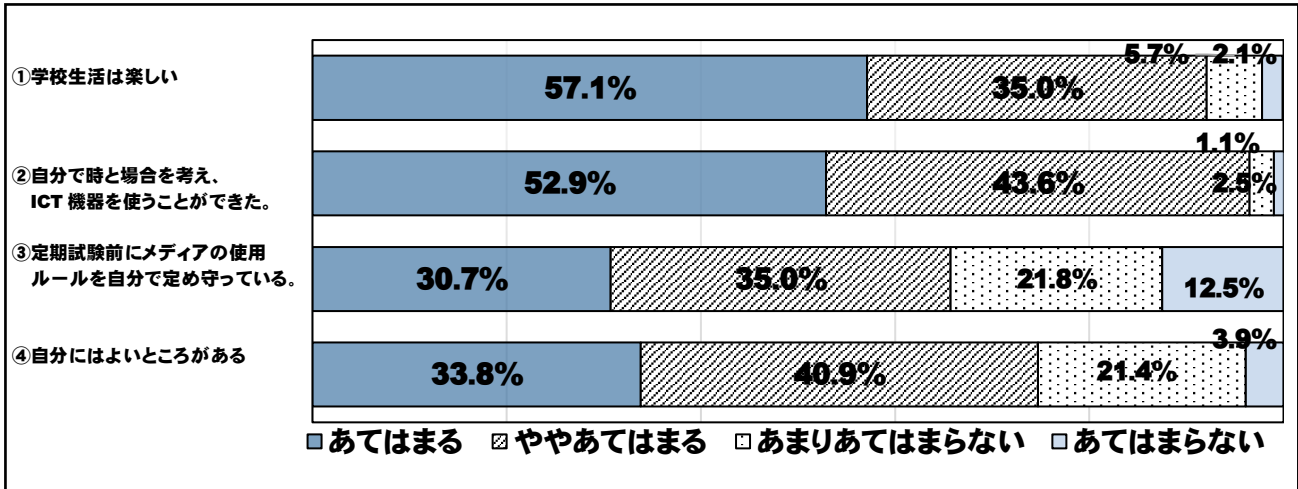
#### <数学>

市・県の平均を大きく下回っています。図形や関数の分野で特に正答率が低くなっています。また無回答率もやや高くなっています。各分野の知識・理解の確実な定着に努めるとともに、ICT 機器などを工夫し数学に親しむ態度の育成を目指します。

#### <理科>

市・県の平均をやや下回っています。「生命」や「地球」を柱とする領域で正答率が低くなっています。実験やその考察を基に、根拠をもって説明したり適切に表現したりする資質・能力の向上を目指します。

## 2 「子どもたちの学校生活について」（自立を促す生徒指導）



生徒一人一人に対し、全教職員で「丁寧・適切な支援・指導」を行うよう心がけています。その結果が、子どもたちの「安心して楽しい学級・学校」という意識につながっています。引き続き、生徒の活躍場面を多く設けるとともに、「失敗が許され何度でも挑戦できる」「困難なことでもあきらめず、最後までやり抜く」ことができる雰囲気醸成を継続して支援していきます。

ICT 機器の利用について、生徒自身は自分で考え、適切に利用していると評価しています。しかしながら、「定期試験前にメディアの使用ルールを自分で決め、守っている」の項目では、肯定的評価が全校 65.7%でした。2 つの調査から子どもたちの認識のズレが生じていることが分かりました。

教職員の指導のみならず、生徒が主体となってデジタルシティズンシップを育む自治活動の充実が図れるよう支援していきます。ご家庭でも、ICT 機器の利用については是非お子様とお話される機会を設けていただきたいと思います。

地域に貢献！ ハートロード整備活動



今年も挑戦！ 白根大凧合戦



～あふれる笑顔、深まる絆～  
学校行事で心ひとつに

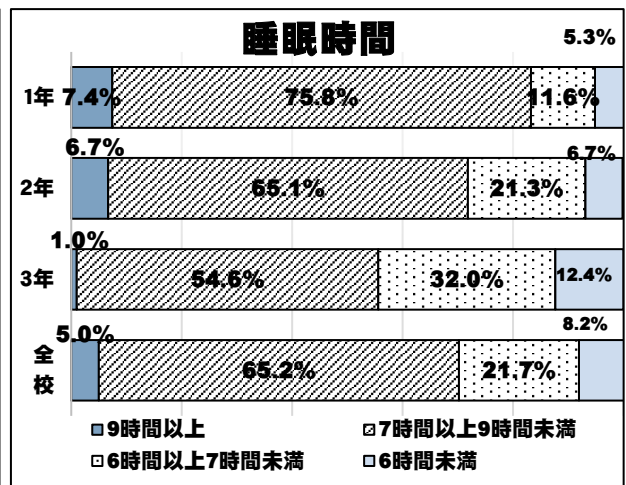
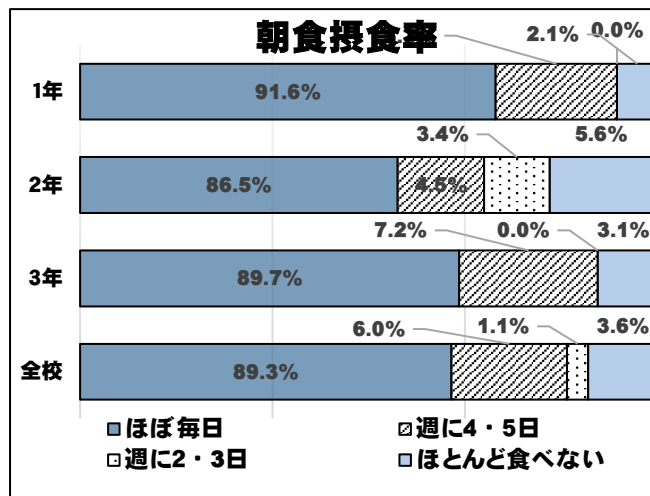


大活躍！ 一中部活動  
自分たちで誇れる学校を！ 生徒会の活躍

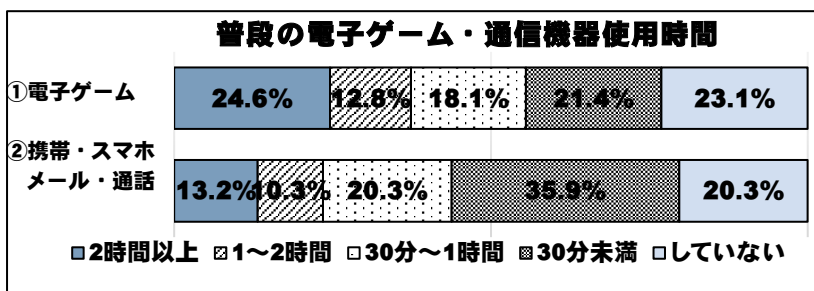
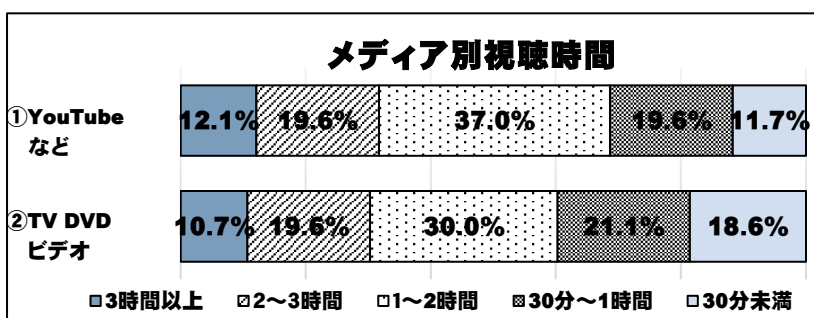
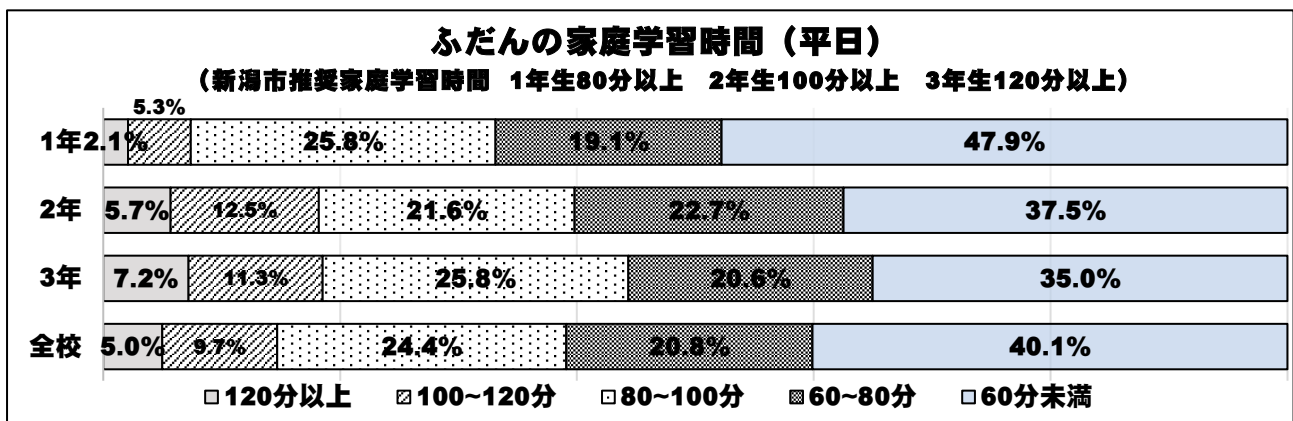


### 3 子どもたちの家庭生活の様子

#### (1)「朝食と睡眠」～元気に生活を送るために～



#### (2) 家庭学習時間とメディア・携帯利用時間



#### 「自分の時間を大切に」

朝食摂食率と睡眠時間は小中連携事業「元気アップウィーク」の継続的な取組で、年々改善傾向にあります。

家庭学習時間は、市の推奨時間に達している生徒が半数以下です。逆にスマホやネットに触れている時間が多くなっています。メディア時間が多い人ほど、寝る時間も遅くなっています。睡眠は体と心の成長にも影響します。学校・家庭で粘り強く指導していく必要があります。



## 令和4年度 保護者前期学校評価アンケート集計結果

No	アンケート項目	割合(%)				肯定意見
		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	前期
(1)	学校は、教育方針を分かりやすく保護者に伝えている。	22.0	70.1	6.8	1.1	92.1
(2)	お子さんは、楽しそうに学校に通っている。	32.8	56.5	9.0	1.7	89.3
(3)	お子さんは、意欲的に学習に取り組んでいる。	19.2	46.9	24.9	9.0	66.1
(4)	学校は、わかりやすい授業づくりに努めている。	15.8	68.4	15.3	0.6	84.2
(5)	お子さんは、将来の職業や進路について夢や希望をもっている。	14.7	46.3	32.8	6.2	61.0
(6)	家庭では、メディア(テレビ・ゲーム・パソコンなど)の使用に約束を設けている。	15.3	49.2	31.6	4.0	64.4
(7)	お子さんは、家庭学習習慣が身についている。	18.1	36.7	33.3	11.9	54.8
(8)	教職員は、一人一人の子どもを理解しようとしている。	23.2	65.0	9.6	2.3	88.1
(9)	お子さんは、家族、友達、地域の人にあいさつをしている。	28.2	58.8	12.4	0.6	87.0
(10)	お子さんは、部活動に一生懸命取り組んでいる。	66.2	30.3	2.8	0.7	96.5
(11)	学校は、通学時の安全指導や事故防止に努めている。	26.6	61.6	11.3	0.6	88.1
(12)	お子さんは、決めた時間に寝て、決めた時間に起きている。	16.9	52.5	27.7	2.8	69.5
(13)	お子さんは、栄養バランスを意識した朝食を食べている。	20.9	50.3	26.0	2.8	71.2
(14)	学校日より、学年日より等配付物は毎回読んでいる。	29.4	57.1	11.9	1.7	86.4
(15)	学校は、教育活動に地域の人材や施設を活用している。	19.2	71.2	9.0	0.6	90.4
(16)	電話をかけたときや学校へ出向いたときの職員の対応は丁寧である。	58.2	39.5	2.3	0.0	97.7

### 保護者アンケートから届いた声(抜粋)

率直な声を届けていただき大変ありがとうございました。いただいたご意見は職員で共有し、教育活動の参考とさせていただきます。○肯定的な声 ▲改善や要望の声

- 子供も楽しく通っています。勉強もわからないところを分かりやすく教えてくれているそうです。先生も親身になって頂いてすごく助かっています。これからも変わらない対応をお願い致します。
- いつもお世話になっております。子供それぞれの性格に合った教育、個性を伸ばす為のアドバイスをして頂いていて、預ける側として安心しております。ありがとうございます。

#### ▲校則も時代遅れだと思うし、校則よりも学力重視してもらいたい。

校則については毎年見直しを行っています。今年度から女子用スラックスを導入するなどジェンダーに配慮した対応もしています。今後も生徒の実態や社会の変化に即した校則になるよう、生徒とともに見直しを図っていきます。

#### ▲部活動の指導にもう少し力を入れてほしいと思います。

部活動については市のガイドラインに則って実施しています。国の部活動の休日地域移行という方針も踏まえ、今後の部活動のありかたについて検討していかなければならないと考えています。

#### ▲子供の送迎で携帯を持たせたい。雪が降ると尚更連絡が取れなくて困る。コロナ感染リスクを考えると公衆電話は極力使わせたくない。検討おねがいします。

冬場は公衆電話の利用者が増え、時には待つこともあります。生徒はトラブルなくマナーよく利用しています。また、公衆電話のそばにはアルコールを用意し感染予防に努めています。通常の下校時刻は月予定や週予定でお伝えしてますし、急な変更がある場合は配信メールなどで周知を行います。携帯電話については賛否両論ありますが、これらのことを踏まえて当校では不要なものと考えています。もし、個別の理由がある場合は学級担任にご相談ください。